

ガバナー月信

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2010-2011

11 vol.5



地域を育み、大陸をつなぐ

国際ロータリー第2660地区

2010～11年度ガバナー 松本 新太郎

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

CONTENTS

ガバナー メッセージ ロータリー財団月間 世界インターアクト週間 ガバナー 松本 新太郎	1	青少年交換来日学生研修会 青少年交換委員会 委員長 金本 恒二郎	8
ロータリー財団月間によせて ロータリー財団委員会 委員長 福家 宏	2	米山奨学委員会・ロータリー財団	9
世界インターアクト週間によせて インターアクト委員会 委員長 谷野 清孝	3	2010年9月度 会員数・出席報告	10
地区ロータリー財団セミナー報告 ロータリー財団委員会 委員長 福家 宏	4-5	文庫通信	11
クラブ職業奉仕委員会 第一回 委員長会議報告 職業奉仕委員会 委員長 鈴木 洋	6	お知らせ／敬弔	12
クラブ社会奉仕委員会 第一回 委員長会議報告 社会奉仕委員会 委員長 表 寛治	7		



11月はロータリー財団月間です。

こう言いますと「ああ、寄付金集めの月間か」と早合点される方がおられるとすれば、とても残念なことです。また各クラブでも、財団月間が単なる寄付集金月間になってはいないでしょうか。

本年度の地区テーマ「ロータリークラブについてもう一度考えてみませんか」に沿って申し上げるなら、11月はロータリー財団について、もう一度考えていただく機会にさせていただきたいのです。それは何も「じゃあ考えなおして、寄付をやめるか」ということではありません。なぜロータリー財団が誕生したのか、財団がこれまでどういった活動を展開してきたのか、そして今、私たちは財団を活用して何ができるのか、など財団に関する様々なことに改めて思いを巡らせていただきたいのです。

そしてその前提として、ロータリー財団への理解を深めていただくことは申し上げるまでもありません。財団は私たちに対して、国際親善奨学金やGSE(研究グループ交換)など多様なプログラムを提供してくれます。これらを有効に取り入れていくことができれば、各クラブが大いに活性化するでしょう。また財団の各種補助金を効果的に利用していくことで、クラブ事業の幅が広がり、

一層の成果を上げることが可能になるでしょう。

「会員数の減少で、事業の範囲や規模が制限されている」というもっとうもらしい口実を先に立てるよりも、厳しい時代だからこそ財団を理解し、上手に活用することで奉仕を質量ともに確保していく方が、ロータリアンとしては賢明な選択なのではないでしょうか。

また11月5日を含む1週間をRIは「世界インターアクト週間」と定め、ロータリアンとインターアクターがともに国際的な活動に参加するように呼びかけています。当地区では現在、大阪桐蔭、大阪浪速、金光八尾、四天王寺、清風、相愛学園の6校でインターアクトクラブが活動を続けています。

インターアクトを巡っては先ごろ、RI理事会で年齢制限が14歳から12歳に引き下げられました。また奉仕の第5部門として「新世代奉仕」が設けられたことから、今後ロータリアンにとってインターアクトの重要性は、これまで以上に高まっていくことになるでしょう。

インターアクトクラブを提唱されているクラブはもちろん、されていないクラブもこのタイミングに、インターアクトについてもう一度考えてみられてはいかがでしょうか。



ロータリー財団は1917年米国ジョージア州アトランタで開催された国際大会で第6代RI会長のアーチ・C・クランフ氏が「全世界的な規模で慈善、教育、その他社会奉仕の分野でよりよい事をするために基金を作ろう」と提案したことに始まり、1928年国際大会でロータリー財団と名づけられ、1931年に信託組織となり、1983年に米国イリノイ州法の法令の下に非営利財団法人となりました。

RI理事会と、管理委員会は、毎年11月はこの月間を遵守すること、月間中、クラブは少なくとも1つのクラブ・プログラムを財団のために実施することを決定しました。

月間中は、ロータリー財団補助金受領者その他（例えばロータリー財団国際親善奨学生など）が、クラブ例会や教育機関や地域社会の会合で、ロータリー財団について講演するよう、示唆されています。財団の奨学金事業、および、人道的諸事業についての知識と理解を深め、財団の推進に役立つプログラムを実施してください。

（ロータリアン必携「ロータリー情報マニュアル2007」より）

■毎年11月はロータリー財団月間です

松本新太郎Gのテーマは「ロータリークラブについてもう一度考えて見ませんか」です。私はロータリー財団月間を迎えるにあたり「ロータリー財団についてもう一度考えてみませんか」とご提案致します。

RI元会長のバート・バース氏はこう語っています。

ロータリーの襟ピンを付けている人は、次のようなメッセージを発信しているのです。『あなたは私を信頼することができます。私は頼りになります。私は信用に値します。私は受けるよりも多くを与えます。私はいつでもお手伝いします』

またグレン・エステス前財団管理委員長はこう語っています。

ロータリー財団のおかげで、世界中の人々は、必要とあればロータリーを頼りにできると知っています。助けを求められたとき、ロータリアンがこれに応えられるのも、財団があるからです。財団がなければ「私にできること

はありません」と言って断るほかありません。

私たちが、新入会員としてロータリークラブに入った時のことを思い出して見たいと思います。「奉仕の理想」を歌い、諸先輩の話を聞いたとき「自分はロータリアンの助けを必要としている誰かのために何とか力になろう」という決意をお持ちになられたことと思います。このことは正しくロータリーの原点ではないでしょうか。その時の気持ちを思い出して、もう一度ロータリー財団について考えてみましょう。

ロータリー財団は90余年の歴史の中で、目覚ましい発展を遂げています。その資産は7億ドルに達しており、今日までに115カ国以上の47000人以上の奨学生を援助してきました。民間団体として、世界最大の奨学金です。マッチング・グラントの件数は29000件を超えています。またロータリー財団は1985年のポリオ・プラス・プログラムの発足以来、20億以上の子供たちに経口ポリオ・ワクチンを接種してきました。

このように輝かしいロータリー財団の業績の担い手は誰でしょうか？ ロータリアンです。これまでロータリアンの奉仕活動に提供された資金は20億ドルに達しています。資金の提供者は誰でしょうか？ ロータリアンです。

私たちが「奉仕の理想」を実践できるのは、ロータリー財団による恩恵です。そのロータリー財団を支えているのはロータリアンです。

ロータリー財団月間を迎えるにあたって、私たちは今一度ロータリアンとしての誇りを自覚したいものです。ロータリアン一人ひとりの寄付は巨大な金額となって、ポリオを初めとする疾患の予防や治療、母子の保健、水と衛生、識字率などの改善を積極的に進めて行く活動に直接結びついていることを誇りとしましょう。それを認識することがロータリー財団月間の最大の目的ではないでしょうか？

このようなしっかりした認識を持つことが出来れば、皆様の130ドル以上の年次寄付は、必ずや生きた寄付金となるに違いありません。

世界インターアクト週間によせて

2010～2011年度 第2660地区インターアクト年次大会

インターアクト委員会

委員長 谷野 清孝
(大阪南RC)

2010～2011年度インターアクト年次大会が9月26日(日)大阪桐蔭中学高等学校にて「世界の子供たちに文房具を贈ろう」というターゲットで開催されました。担当校は大阪桐蔭中学高等学校、ホストクラブは大東RCです。当日は、第2660地区松本新太郎G、吉川謹司PG、岡部泰艦GEを迎え、6校の生徒68名、顧問先生15名、ロータリアン38名、ローターアクト1名、事務局1名他4名の127名の参加で開催されました。

開会式の後、各校インターアクト代表からの活動報告があり、続いて8月6日～9日の韓国ソウルでの海外交流、奉仕活動の研修の成果について浪速中学高等学校より報告がありました。

続いて国境なき奉仕団理事長代理、松本秀作氏に講演に来て頂き「国境なき奉仕」の活動を聞かせて頂きました。松本氏の講演では、国際貢献活動は、資金物資援助(O DA)、人的(技術)援助の2つに絞られ適切な自己判断のもとに、今なすことはなにかを基本に広範囲な奉仕活動に意識をもった人を多くつくり、奉仕に対する自分の既成概念を破るのだと話されました。この講演においては、あらためて「奉仕」という言葉の重みを感じ

ました。

その後、シンフォニックホールにおいて、大阪桐蔭吹奏楽部による演奏で心がいやされた思いでした。

午後からは生徒が、6グループに分かれて、文房具(鉛筆・消しゴム・ノート・その他)、分別梱包、メッセージカードの作成とインターアクトとロータリアンとが汗をかき有意義な奉仕活動を推進できたと思います。

国際奉仕を通じて少しでも貧困から立ち上がる機会をつくることで、子供達の未来に貢献し世界の人々に「日本人の心」を知ってもらいたいと思います。そして、純粋な子供達の喜ぶ姿を考えれば彼らが大人になった時この経験が何かに役立つだろうし、又、世界から見た小さな豆電球のともし火のようなものですが、続けていけば幸せだなという実感がわいてきます。

年次大会の最後は次年度担当の相愛中学高等学校へ引き継ぎを行い無事終了しました。

このような有意義な年次大会を企画運営されました大阪桐蔭中学高等学校の皆様、大東ロータリークラブの皆様、心から感謝申し上げます。今後ともインターアクトクラブへのご支援をよろしくお願い申し上げます。



日時：2010年8月28日(土) 13:30～16:30

場所：大阪YMCA会館 2Fホール

地区ロータリー財団セミナーはG主催の大切なプログラムで、各クラブの会長、幹事、財団委員長を対象としたロータリー財団についての勉強会です。猛暑の最中でしたが、松本新太郎Gはもとより近藤雅臣RI理事、井上暎夫第3ゾーン学友コーディネーター、大谷透PG、岡部泰鑑GE、高島凱夫GN、地区研修委員会から神崎茂サブリーダーと木村芳樹委員、AG、AGE、小林澄子国際奉仕WCS委員長、井川孝三ロータリーの友地区代表委員など多数の指導者のご参加を頂きました。司会は池尻誠地区代表幹事が務められました。出席者数は255名でした。

松本G

「RCについてもう一度考えてみませんか」のテーマのもと、本日は「財団についてもう一度考えてみましょう」と呼びかけられました。このセミナーを通して財団への理解を深め、クラブの活動に十分役立てて欲しい。さらに私たちの立ち位置を再度認識しましょう、と説かれました。また「財団すなわち寄付集め」といった誤った考え方を捨てて、個々のロータリアンの奉仕活動への理解が深められるように努めて頂けるならば、それは自ずと寄付増進に繋がるでしょう。奉仕活動を実施するときは相手のニーズを十分に理解してプロジェクトを進めるようにしましょう、と語られました。

地区財団委員長

私はロータリー財団(TRF)の成り立ち、RIとの関連、目覚ましい発展と奉仕の歴史、財団プログラムの種類と内容、国際ロータリーとロータリー財団とロータリアンとの関係などをお話し、ポリオ撲滅のための「ロータリーの2億ドルチャレンジ」については今年8月現在1億4000万ドル以上の寄付金が寄せられていることや、世界のポリオ発症数の激減についてご説明とご協力をお願いを致しました。

1. 寄付増進プログラム部門

百済洋一財団情報・増進委員会委員長のお話は下記のような内容でした。

①地区の寄付目標

ロータリアンに対して年次寄付1人130ドル以上、ポリ

オ撲滅寄付金1人3000円以上、クラブに対して恒久基金ベネファクター毎年1人以上、ロータリー・カード会員1クラブ3名以上、地区に対して大口寄付者1人以上の目標達成の協力要請。

- ②また個々の寄付金に関する詳細な説明や冠名基金など特別な寄付についても時間を割いて解説。
- ③寄付はロータリーの奉仕活動に間接的にはあるが参加していることにはなるが、直接的参加が望ましく、有意義なプロジェクトを実施して寄付金を有効利用することを提案。
- ④ロータリー・カードの意義と入会の勧誘。
- ⑤カード入会率、当地区や日本、世界のロータリアンの寄付金額の推移など(資料配布)。

2. 人道的プログラム部門

五味千秋財団人道的補助金委員会委員長は、「人道的補助金の有効活用」と題してスライドを用い、主として下記5点について解説をされました。

- ①ロータリー財団の財源
- ②寄付金の内訳
- ③年次プログラム基金の配分(DDFとWF)
- ④マッチング・グラントの仕組みと実施手順
- ⑤地区補助金の実施手順など。

分かり易いスキームを示され、クラブ財団委員長の皆様は理解を深められたことと思います。

3. 教育的プログラム部門

(1)井上暎夫財団学友コーディネーターは、教育的プログラムは基本的かつ重要なプログラムと認識すべきこと、2007年規定審議会が「財団学友はロータリー・クラブの正会員となる資格を有する者」と定めていることをご紹介され、日本でロータリアンの高齢化が会員減少の一因となっている現在、新世代のロータリアンの育成は極めて重要であり、これについて理解を深めるよう呼びかけられました。また学友(PSCとアルムニ会)をロータリーに迎え入れることへの支援と、当地区が誇りとすべき大阪ネクストRCに対する理解を求められました。

(2)梅崎道夫財団奨学金・学友委員会委員長は、国際親善奨学生制度の歴史、応募から留学までの手続き、資格要件、奨学生募集試験合格から入学までの過程、スポンサー・クラブとホスト・クラブの役割、平和フェロー・プログラム、財団学友(PSC)活動、未来の夢計画に至るまで、配布資料提供の上明快なご説明を

されました。そして国際親善奨学生（語学力については高水準を求められる）や平和フェローの候補者推薦を要請されました。

(3)このあと折りよく帰国中のPSC西口三千恵さん（2004-05国際親善奨学生）に素晴らしいプレゼンテーションをして頂きました。西口さんは英国で国際開発マネジメント修士課程を修められ、2005年からザンビアやマラウイで活動ののち2008年1月からカンボジアの医療僻地での診療所運営に所長補佐として関わっておられます。現地は熱帯熱マラリアの蔓延地域である上、医療環境は極めて劣悪、無免許の医療行為も行われているという困窮地域です。西口さんはそこに診療所を建設するプロジェクトを立ち上げ、省エネ設計に基づく診療所建設を成功させました。当地区の（国際奉仕）WCS委員会は、現地を何度も訪れて診療所運営に必要な機材の寄贈を実施されました。西口さんはこのことにお大変感謝しておられますが、ご自身の留学前から今日に至るまで、ずっとロータリアンの熱い支援を受けて来られたことに繰り返し謝意を述べられました。感動的なプレゼンテーションでした。

4. 研究グループ交換部門

(1)2009-2010 D2660 GSE派遣チームプレゼンテーション（団長+5名）

派遣先：米国テキサス州（D5870：オースチン地区）
2010/04/23～05/21

団 長：佐藤俊一氏（大阪鶴見RC）

団 員：松永圭司氏（八尾中央RC推薦）、吉田章夫氏（大阪イブニングRC推薦）、大本尚美氏（大阪鶴見RC推薦）、品川明日香氏（大阪北RC推薦）、端山信吾氏（大阪西南RC推薦）

約40分間、現地での活動をムービーで披露しつつチームの佐藤団長初め、5人の団員一人ひとりが広いテキ

サスでの楽しくも珍しい多くの体験談を語って下さいました。チームの皆様は立派に国際親善の役割を果たしつつ、それぞれの職業に関する研修を身につけて帰って来られました。帰国後はアルムニ会に属し、財団学友としてロータリーのためにご尽力頂けるものと思います。将来ロータリアンとして活動して頂けることを期待しています。

(2)吉崎広江研究グループ交換委員会委員長

GSEとはどんなものか、その目的やしくみについてご説明されました。そして当地区の活発なGSE活動の歴史を紹介されました。1976年プログラム開始時より、当地区は22回にわたってGSEを実施してきました。そして2010-2011、2011-2012年度の2年間にわたる交換をスリランカ（D3220）と実施（今年度は受け入れ）することや、受け入れ時の委員長クラブを紹介されました。

5. セミナーの閉会に当たって

今回質疑応答の時間を10-15分間設定していましたが、ご質問はありませんでした。

セミナーを閉じるにあたり、先ず高島凱夫GNからご挨拶があり、3時間のセミナーは有意義なものであったとのご評価を頂きました。次いでRI理事、近藤雅臣PGよりご講評を頂きました。ご参加の皆様と発表者への労いの言葉と、励ましを頂きました。またPSCの西口さんのプレゼンテーションを高く評価されました。またGSEについてはご自身にとってオースチンが第2の故郷であることや、チームの団員の皆様には是非ロータリアンになって欲しいという思いを語られました。ポリオ撲滅については「ここまで来たら最後まで徹底的にやりましょう」と、全員に決意を促されました。

そして岡部泰鑑GEが閉会のご挨拶としてセミナーの意義を評価され、これからも財団への理解を深める努力を続けるようにと話されました。



クラブ職業奉仕委員会 第一回 委員長会議報告

職業奉仕委員会

委員長 鈴木

洋
(八尾東RC)

出席者：松本G、岡部GE、神崎PG、G補佐7名、地区委員7名と85クラブの内76クラブ、合計93名。

司会：地区職業奉仕委員 岸本 隆之

ガバナー挨拶：松本新太郎G

クラブ職業奉仕委員長の皆様へ：神崎茂PG

職業奉仕月間卓話について：地区職業奉仕委員長 鈴木 洋

本年度の計画報告：進行 — 地区職業奉仕副委員長 長崎弘芳、フォーラム — 千里メイプル、
職場見学 — 四条畷、卓話 — 吹田西・くずは、職場体験 — 大阪西・大阪難波
出前授業 — 八尾、大阪東、その他 — 東大阪東・大阪ネクスト

挨拶：岡部泰鑑GE

本年度第1回のクラブ職業奉仕委員長会議は85クラブ中76クラブの委員長が出席し、熱心な発表と討議が行われました。合同地区委員会をお願いをしていた「10月の職業奉仕月間にはクラブ職業奉仕委員長自らが卓話をし、その後フォーラムへと繋いでいただく」計画を、65クラブが実施すべく準備をして頂いており、心より敬意を表します。このように熱心なロータリアンが大半ですが、出席登録をしておきながら当日何の連絡もなく欠席する方がいることは残念でなりません。

1. クラブ職業奉仕委員長の皆様へ

神崎 茂PG

「職業奉仕の理念と実践」「経済と倫理—アダム・スミスの人間観」をテーマに20分間お話を頂きました。「職業奉仕とはあなたの職業(仕事)を通じて他人を助けること」との明快な言葉に始まり、アーサー・フレデリック・シェルドンの考え方と江戸時代の商人道との共通点等

のお話に参加者は熱心に聞きっていました。

2. 職業奉仕月間卓話について

鈴木 洋・地区職業奉仕委員長

クラブ職業奉仕委員長に卓話をして頂く為の卓話事例「今こそ職業奉仕」を紹介し、「四つのテスト」をはじめ7項目の卓話テーマを紹介しました。

3. クラブ事業計画の報告

10クラブの委員長から事業計画の発表を頂き、その後活発な質疑応答が行われました。85クラブ中フォーラム62、職場見学60、関連卓話65、出前授業42、職場体験学習33、その他44と多くのクラブが積極的に取り組みを進めています。特に出前授業は小学校から始まり大学まで広がり更に新人教師向け研修の講師も務めています。会議の最後を出前授業の産みの親である畑田地区研修委員のコメントで飾って頂きました。



クラブ社会奉仕委員会 第一回 委員長会議報告

社会奉仕委員会

委員長 表

寛治
(池田くれはRC)

日時：2010年9月4日(土) 9:30～11:30

会場：薬業年金会館

出席者：松本G、岡部GE、ガバナー補佐、矢野地区研修委員、地区社会奉仕委員、クラブ社会奉仕委員長、大阪府都市整備部 伊東 様、大阪府赤十字血液センター 小川 様、大阪府健康医療部 中田様、合計 82名

第1回クラブ社会奉仕委員長会議が9月4日薬業年金会館にて82名が出席のもと開催されました。

まず松本Gより意義有る社会奉仕活動に取り組んでもらいたい、地域との密着をより大切にとのお話をいただきました。また、矢野地区研修委員より社会奉仕活動の理想についてお話がありました。地区社会奉仕委員会より現況について、地区補助金(DSG)の申請状況の報告、2009～10年度クラブ社会奉仕活動事例集の作成について各クラブの活動報告をお願いしました。

○大阪府都市整備部 伊東様から

撤去歩道橋のインドネシアでの再利用の取り組みについて

○大阪府赤十字血液センター 小川様から
献血の現状について

「まいどなんば献血ルーム」の開所の案内

○大阪府健康医療部 中田様から

薬物乱用防止について

平成22年度「麻薬、覚せい剤乱用防止運動大阪大会」に際して協力の依頼

岡部GEより今回の会議についての総括をいただき、川上地区社会奉仕委員会副委員長から本日の出席のお礼と第2回クラブ社会奉仕委員長会議を2月19日(土)に同じ会場で開催することを連絡申し上げ閉会としました。



青少年交換来日学生研修会 3地区合同オリエンテーション報告

青少年交換委員会

委員長 **金本 恒二郎**
(大阪天王寺RC)

隣接する3地区(D-2660、D-2640、D-2680)では、各地区間の交流やコスト削減のために、一昨年より3地区合同で来日学生へのオリエンテーションを実施しています。今回は、第2680地区(兵庫県全域)青少年交換委員会のお世話により、9月25日(土)～26日(日)に姫路北部にある書写山圓教寺で実施されました。

圓教寺は千年以上の歴史あるお寺で、天台宗の比叡山延暦寺、大山寺と並ぶ三大修行場の1つで「西の比叡山」とも呼ばれる古刹です。今日では、姫路市内の小中学生達の殆どが林間学舎として利用しているそうです。また、2003年公開のハリウッド映画「ラストサムライ」(トムクルーズ、渡辺謙が共演)の主なロケ地に利用されたことでも有名です。

そのような霊験あらたかな雰囲気にも包まれた地に、3地区の来日学生全員(20名)を含むローテックス、ロータリアン達延べ約65名が集合して、2日間にわたる研修等が始まりました。

初日は、第2680地区ガバナー柴田整宏様、同地区委員長白井務子様のご挨拶の後、記念撮影、常行堂(重要文化財)舞台での居合道と空手道の見学があり、夕食後は、地区別に分かれてのオリエンテーションがありました。来日学生達は、目前で披露される日本伝統武道の迫力と素晴らしさに皆が驚嘆していました。

地区別のオリエンテーションでは、海外派遣経験のあるローテックスメンバーが中心になり、車座になって来日から約1か月経過した時点での悩みや問題等を尋ね、ローテックスやロータリアンからのアドバイスや討論を通じて、日本の習慣や日本人の意識や考え方への理解を深めてもらうとともに、学校や家庭での日常生活に順応し

てもらふこと、溜まったガス抜きをすることを目的としております。また、ホストファミリーとの信頼関係を円滑に形成・維持してもらえよう、第三者であるローテックスやロータリアンからのアドバイスや指導を行いました。来日学生は皆それぞれ、納得、満足したり、意識を新たに今後生活に熱い意欲を示していました。

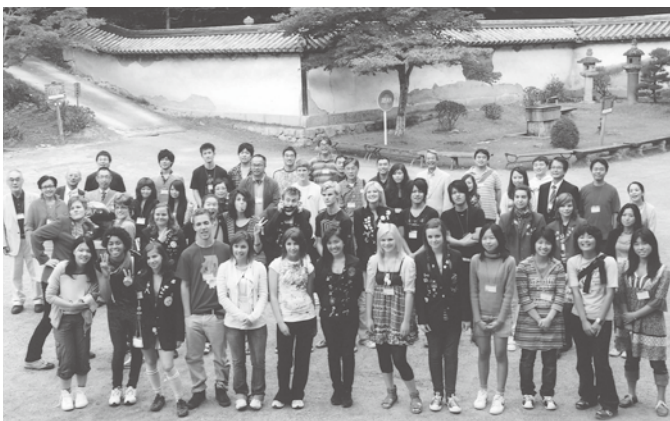
2日目は、6時40分から摩尼殿で朝のお勤めに参加し、朝食後は常行堂での座禅体験とお説法、大講堂(重要文化財)内の見学・説明、食堂(重要文化財)内の見学がありました。

朝のお勤めでは読経の流れる中で荘厳な雰囲気を味わえ、座禅体験では少しでも無の境地に浸ることができたものと思われます。また、食堂内に展示された数々の由緒ある展示品にも皆見入っておりました。

昼食後、書写山を下山してからは、姫路歴史博物館を見学し、好古園で日本庭園を散策し、続いて“平成の大改修”中ならではの姫路城(世界遺産、国宝)骨格部分の見学を英訳ボランティアガイド付きで行いました。

このように、いずれも日本文化に縁の深いものばかりを、しかも盛り沢山にこなすという、とても意義深い2日間のオリエンテーションでした。午後4時過ぎ、姫路城を後にし、皆無事に帰路につきました。

最後に、この紙面をお借りして、この度お世話になりました第2680地区の皆様に対し、心より御礼と感謝の気持ちをお述べさせていただきます。本当に有り難うございました。次年度は、我が第2660地区の担当になりますが、2年連続の素晴らしいプログラムに、若干のプレッシャーと強い意欲を感じている次第です。



米山奨学委員会・ロータリー財団

地区米山奨学委員会より

2010年8月末	全国寄付金合計額	295,926,672円	(前年度比 1.94%増)
”	第2660地区寄付金合計額	14,511,250円	(前年度比 9.91%減)
2010年8月末	全国寄付合計トップ10		
1.	第2770地区	19,335,592円	
2.	第2760地区	17,696,500円	
3.	第2750地区	16,893,030円	
4.	第2650地区	15,408,495円	
5.	第2590地区	15,316,000円	
	6.	第2660地区	14,511,250円
	7.	第2580地区	13,819,700円
	8.	第2710地区	11,839,000円
	9.	第2690地区	11,609,400円
	10.	第2790地区	11,272,700円

米山功労者

次の方たちに米山功労者の称号が贈られました。
(2010年8月)

氏名	回数	クラブ名
天野 正亮	2回目	東大阪東RC
朝田 正治	2回目	東大阪東RC
井上 家昌	5回目	東大阪東RC
城戸 義雄	4回目	東大阪東RC
溝畑 正信	7回目	東大阪東RC
森 裕一	1回目	東大阪東RC
大橋 秀典	1回目	東大阪東RC
寺田 秀興	5回目	東大阪東RC
山本 峰雄	5回目	東大阪東RC
山下謙二郎	2回目	東大阪東RC
都田 慶一	3回目	茨木西RC
家原 泰雄	2回目	大阪城東RC
山本 秀典	2回目	大阪城東RC
北村 薫	1回目	大阪中之島RC
岡本 啓吾	1回目	大阪中之島RC
阿江 秀典	1回目	大阪西北RC
藤井 進次	9回目	大阪西北RC
小山 登	1回目	大阪西北RC
三村 恵造	4回目	大阪西北RC
瀬田川昭俊	3回目	大阪西北RC
高士 誠司	1回目	大阪西北RC
菅本憲市郎	7回目	新大阪RC

米山功労クラブ

次のクラブに米山功労クラブの称号が贈られました。
(2010年8月)

クラブ名	回数
大阪城東	41回目
大阪中之島	11回目
大阪西北	39回目

ロータリー財団

ポール・ハリス・フェロー

次の方たちにポール・ハリス・フェローの称号が贈られました。(2010年)

堀田 修平	枚方RC	8/6
倉内 貞敏	茨木RC	8/20
金沢 英富	大阪城東RC	8/20
司馬 久義	大阪城東RC	8/20
山本 恵真	新大阪RC	8/20
水上 雅博	東大阪東RC	8/31

ロータリー財団

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

次の方たちはマルチプル・ポール・ハリス・フェローです。(2010年)

佐々木良高	3回目	茨木西RC	8/6
田村 英明	1回目	茨木西RC	8/6
宮里 唯子	1回目	茨木西RC	8/6
北村 薫	1回目	大阪中之島RC	8/6
山下謙二郎	2回目	東大阪東RC	8/13
須崎 洋一	3回目	東大阪東RC	8/13
金子 泰輔	3回目	東大阪東RC	8/13
大森 慈祥	6回目	茨木RC	8/20
岡本 浩	3回目	大阪城東RC	8/20
岡本真一郎	1回目	大阪なにわRC	8/20

ロータリー財団 ベネファクター

次の方たちにベネファクターの称号が贈られました。(2010年)

高島 凱夫	大阪中之島RC	8/6
井土 賢一	大阪城東RC	8/20

「ロータリー文庫」は日本ロータリー 50 周年記念事業の一つとして 1970 年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、2 万余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の

出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページで PDF もご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

贈呈資料から

「広報 (Public Relations) とは…」

田岡 久雄 2010 45P [申込先:日本事務局 FAX(03)3903-3781]

「ロータリーマジック 違いをもたらそう」

江崎 柳節 2010 197P [申込先:江崎柳節 FAX(0568)77-0239]

「日本 RC 認証順位一覧」 前岡 志郎 2010 56P [申込先:ロータリー文庫]

「ロータリーの心と実践」 D.2660 2010 90P [申込先:D.2660 FAX(06)6264-2661]

「我等の生業」 行田さくら RC 2010 87P [申込先:行田さくら RC FAX(048)564-3020]

「マレーシア・ボルネオ島・サラワク州植林支援活動報告書」

上田東 RC 2010 28P [申込先:上田東 RC FAX(0268)21-3501]

「心学の祖 梅岩に学ぶ職業奉仕 真実かどうか? <DVD>」

亀岡 RC 2010 [申込先:亀岡 RC FAX(0771)25-2151]

「ロータリー情報マニュアル第3版」

D.2650 2010 786P [申込先:淵上勝夫 FAX(0779)87-2560]

「新作講談『日本のロータリー創始者・米山梅吉翁一代記』<DVD>」

宝井 馬琴(講談) さいたま新都心 RC 2010 [申込先:ロータリー文庫]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階

TEL (03) 3433-6456 FAX (03) 3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館 = 午前10時~午後5時 休館 = 土・日・祝祭日

「お知らせ」

月信7月号 15ページ

主要送金「4. ロータリー財団への寄付」

送金先の欄の説明に「税制上の優遇措置を希望する寄付」とありますが、本年度から教育目的の20万円以上の寄付であっても、税制上の優遇措置が受けられなくなりましたので、ご注意ください。

事務局移転 大阪天王寺RC 移転日 2010年10月14日(木)

移転先 〒543-0055

大阪市天王寺区悲田院町8-11

新和興産ビル302号室

TEL 06-6772-5816 FAX 06-6779-7956

※TEL・FAX番号は大阪南RCと共通になります。

ホームページアドレス変更

豊中RC <http://www.sun-inet.or.jp/~jtrc2660/>

茨木西RC <http://www.ibarakiwest.is-mine.net/>

敬 弔 謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

倉内 隆 会員 (寝屋川RC)
2010年10月6日逝去(享年78歳)

親睦活動委員長、出席委員長
ポール・ハリス・フェロー

栞田 圭児 会員 (大阪北RC)
2010年10月9日逝去(享年78歳)

幹事、ロータリー情報委員長
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
米山功労者

月信編集委員会からのおねがい

- ガバナー事務所への月信に関するご連絡は、FAXまたはE-Mailにてお願い致します。折り返し、できるだけ早くご連絡致します。
- 投稿は原稿（写真付きの場合は一緒に添えて）を掲載月の前々月20日までに、事務所必着でお送り下さい。原稿はなるべくパソコンでの作成をお願い致します。掲載の採否、字数の整理、並びに止むを得ない掲載月の変更等につきましては、月信編集委員会にご一任下さい。
- 物故会員のご連絡は、専用の用紙にてFAXをお願い致します。
- 今年度の月信につきましては、各クラブ理事・役員・事務局・備品用に、各クラブの会員数に応じて部数を設定し、無料配布いたします。また、ご希望の会員には有料（年間2,200円・1冊200円）配布とさせていただきますので、出来るだけ多くの方のお申し込みをお待ちしています。

月信編集委員会

- ・ガバナー 松本新太郎
- ・地区代表幹事 池尻 誠
- ・地区副代表幹事 吉本 憲司
- ・担当地区幹事 小山 悦治
- ・担当地区幹事 笠井 実
- ・担当地区幹事 奥谷 英一
- ・事務局長 今井 貢二

2010～2011年度 国際ロータリー第2660地区 【ガバナー事務所ご案内】

●事務局スタッフ

ガバナー	松本新太郎
地区代表幹事	池尻 誠
地区副代表幹事	吉本 憲司
事務局長	今井 貢二
事務局員	栗正 久美
	春名 志保
	大西 麻容

●休 日

土曜、日曜、祝日
 年末年始
 2010年12月29日(水)～
 2011年1月4日(火)

●所在地・電話・ファックス

〒541-0052
 大阪市中央区安土町1-5-11
 トヤマビル東館 6階
 TEL：06-6264-2660
 FAX：06-6264-2661

ガバナー事務所に会議室を併設いたしております。

最多 36名

詳細はガバナー事務所までお問い合わせ下さい。

●ホームページアドレス

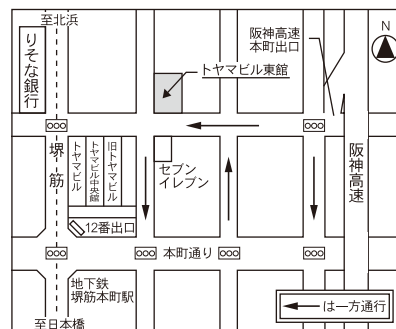
<http://www.ri2660.gr.jp/>

●メールアドレス

gov@ri2660.gr.jp

●勤務時間

9：30～17：00



※地下鉄堺筋線 堺筋本町駅 12番出口すぐ

国際ロータリー第2660地区

〒541-0052 大阪市中央区安土町1-5-11 トヤマビル東館6F
 電話 06-6264-2660 Fax 06-6264-2661 E-mail:gov@ri2660.gr.jp

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2660

6 F Toyama Bldg, East 1-5-11 Azuchi-machi Chuo-ku OSAKA 541-0052 JAPAN
 Phone.+81-6-6264-2660 Fax.+81-6-6264-2661 E-mail.gov@ri2660.gr.jp